



航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

変異株水際対応について岸田首相の考えを問う！

～経緯の検証と政府内の対応改善・航空会社との連携強化を提案！～

12月15日(水)、第207臨時国会・衆議院予算委員会で、航空連合政策議員フォーラムメンバーの城井崇(きい たかし)衆議院議員が、11月下旬に発生したオミクロン株の水際対策に関わる政府の一連の対応(国際線新規予約一時停止要請およびその撤回)について、航空連合の課題認識をふまえ、岸田首相をはじめとする政府に対して対応の改善を提案しました。



城井 崇(きい たかし)
衆議院議員

早期対応が必要な観点から、政府が外国人の新規入国を原則停止としたこと自体の狙いは理解できるが、**現地邦人の保護や配慮が足りなかったのではないか。**

要請を受ける航空会社が混乱しないよう、**関係者と密に連携し、あらかじめシミュレーションしておくべきではないか。**

- これからを考えた場合、指摘のように**政府全体の調整をし、混乱があってはならない**と考えている。
- **経緯についてしっかりと検証**しなければならない。官房長官の下に、関係大臣も加わって設置しているタスクフォースの**体制をより強固なものとし、政治の立場、各省庁の立場、それぞれの情報をしっかりと共有し、今後は混乱がないように努めたい。**



岸田首相

- 新規予約停止は、緊急避難的に、**予防的観点から実施**した。取り急ぎの対応とはいえ、**邦人の帰国需要への配慮に欠ける面があり、丁寧な対応が必要**だった。
- 引き続き十分配慮し、**予約状況や需要動向も踏まえ、きめ細かく対応**していきたい。



斉藤国土交通大臣
(首相官邸HPより)